

平成 29 年 10 月 17 日
宮里、深田、伊藤、鈴木、花岡（北陸 SIP）

SIP 北陸が主催する北陸 4 県の市町村に向けた技術展示会の御案内(更新版)

1. 目的

北陸 4 県の市町村や県および国土交通省の道路管理者に向けて、道路橋の維持管理を合理化するための、他の SIP グループによる成果を含めた有効な点検および補修等の開発技術を情報提供する。これにより道路橋を管理する技術職員は、点検の短時間化・費用縮減・安全化や、評価・診断の精度向上や、補修（予防を含む）の費用縮減・効果向上に資する、最新の技術を認知できる。なお、道路管理者の財政・職員数・管理橋梁数・環境条件・劣化主因・地形等は個々で異なるため、将来に亘り実装可能な維持管理計画を立てるためには、自身の条件に応じた技術を選択する必要がある。すなわち、北陸地方で共通するプラットフォーム的なモデルは、SIP 北陸チームで提案できるが、個々の道路管理者がカスタマイズ化する必要があるため、各々の組織の職員が展示会に参加し、自身の五感で開発技術を認識することが、今後の立案において有効な情報になる。

2. 開催日時と会場

11/6(月)

[午前の部]

10 時～12 時

金沢工業大学扇が丘キャンパス 23 号館 1 階パフォーミングスタジオ

住所：〒921-8501 石川県野々市市扇が丘 7-1 TEL：076-248-1100

http://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/ogigaoka.html

[午後の部]

15 時～17 時

富山市民プラザ アトリウム

住所：〒930-0084 富山市大手町 6 番 14 号 TEL 076-493-1313

<http://www.siminplaza.co.jp/?tid=101502>

なお、金沢会場から富山会場までの移動には、貸切バスを準備しております。参加者の乗車のみならず、ポスター等や展示物も運搬させていただきます。

3. 来場者（展示会を観る側）

北陸 4 県（新潟県の上越地方、富山県、石川県、福井県）の市町村

ならびに、国土交通省北陸地方整備局、同近畿地方整備局、富山県、石川県、福井県

さらに、北陸地方のコンクリート診断士や技術士など

4. 展示者【更新】

1) SIP 関連

SIP No	テーマ	組織
9	走行型高速3Dトンネル点検システム MIMM-R (ミーム・アール)	パシフィックコンサルタンツ(株)
11	AI 打検システム：人工知能が点検ハンマによる 打音検査をアシスト	(国研)産業技術総合研究所
22	橋梁点検ロボットカメラ ー近接目視困難箇所の点検にー	三井住友建設(株) (株)日立産業制御ソリューションズ
48	橋梁・トンネル点検用打音検査飛行ロボット システム	日本電気(株) (一財)首都高速道路技術センター (株)自律制御システム研究所 (国研)産業技術総合研究所
51	飛行型インフラ点検ロボットシステム	新日本非破壊検査(株)

2) SIP 以外

テーマ	組織
タブレット端末を用いた地方自治体向けの小規模橋梁概略 点検システム	長岡工業高等専門学校 井林研究室
シラン系表面含浸材(アクアシール 1400)を用いた予防保全	大同塗料(株)
特殊ウレタン樹脂による表面被覆工法	レジテクト工業会
できるをつくる。挑戦し続けるデンカの新技术	(株)デンカ
構造物の劣化調査最適な補修の提案を目指して	中日本ハイウェイ・エンジニア リング名古屋(株)
コンクリート・鋼構造物の総合的補修技術 〔簡易～長寿命化対策〕	(株)デーロス・ジャパン
塩害箇所抽出方法及び塩害モニタリング技術の紹介	日本工営(株) (RAIMS)
ピーエス三菱が提案する橋梁の維持管理技術	(株)ピーエス三菱
ドローンやラジコンボードを利用した遠隔撮影 (金沢会場のみ)	金沢工業大学 徳永研究室 (金沢会場のみ)
商用無線回線を使ったモニタリングシステムの維持管理活 用に向けた取り組み紹介	(株)アイペック
A S R 簡易診断及び凍害抵抗性診断技術	北陸電力(株)
コンクリート落下対策と最新のアンカー技術	サンコーテクノ(株)
A I 技術を活用した橋梁劣化要因・健全性判定支援システム	(株)日本海コンサルタント